



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月29日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二之夕 裕美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 2021年7月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	123,152	85.4	6,322		7,333		5,658	
2021年3月期第1四半期	66,439	48.1	9,961		9,220		9,585	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6,596百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 7,154百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	61.99	
2021年3月期第1四半期	105.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	426,038	274,090	60.7
2021年3月期	419,259	270,276	60.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 258,744百万円 2021年3月期 255,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		30.00	50.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	245,000	34.2	10,000		10,500		6,500		71.20
通期	495,000	12.5	22,000	56.6	23,000	21.0	15,000	24.7	164.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	94,234,171 株	2021年3月期	94,234,171 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,937,446 株	2021年3月期	2,960,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	91,279,609 株	2021年3月期1Q	91,255,820 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は123,152百万円と、前年同四半期に比べ56,713百万円(85.4%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は6,322百万円と、前年同四半期に比べ16,283百万円の増益、連結経常利益は7,333百万円と、前年同四半期に比べ16,553百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,658百万円と、前年同四半期に比べ15,243百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

新型コロナウイルス感染症の影響があった昨年に比べ客先生産台数が増加し、売上高は70,072百万円と、前年同四半期に比べ27,963百万円(66.4%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加により3,008百万円と、前年同四半期に比べ11,537百万円の増益となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症の影響があった昨年に比べ客先生産台数が増加し、売上高は26,351百万円と、前年同四半期に比べ16,481百万円(167.0%)の増収となりました。営業損失は△60百万円となりました(前年同四半期は営業損失△1,792百万円)。

(アジア)

新型コロナウイルス感染症の影響があった昨年に比べ客先生産台数が増加し、売上高は36,770百万円と、前年同四半期に比べ16,453百万円(81.0%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより3,902百万円と、前年同四半期に比べ2,972百万円(319.3%)の増益となりました。

(その他)

売上高は8,204百万円と、前年同四半期に比べ5,548百万円(208.9%)の増収となりました。営業利益は452百万円と、前年同四半期に比べ1,181百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の増加により426,038百万円と、前連結会計年度末に比べ、6,779百万円増加いたしました。負債は未払費用の増加などにより151,947百万円と、前連結会計年度末に比べ、2,964百万円増加いたしました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより274,090百万円と、前連結会計年度末に比べ、3,814百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2021年4月27日決算発表時の公表値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,202	72,949
受取手形及び売掛金	69,863	67,935
電子記録債権	12,836	13,516
有価証券	2,699	2,900
商品及び製品	19,335	20,475
仕掛品	28,560	28,505
原材料及び貯蔵品	7,770	7,810
その他	10,858	11,849
貸倒引当金	△124	△145
流動資産合計	226,003	225,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,842	33,586
機械装置及び運搬具(純額)	32,269	31,126
その他(純額)	27,347	28,544
有形固定資産合計	93,458	93,257
無形固定資産		
その他	2,381	2,332
無形固定資産合計	2,381	2,332
投資その他の資産		
投資有価証券	55,620	63,019
その他	41,900	41,738
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	97,415	104,652
固定資産合計	193,255	200,242
資産合計	419,259	426,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,598	46,731
電子記録債務	10,707	10,840
未払法人税等	1,813	2,602
賞与引当金	8,017	5,272
製品保証引当金	4,711	4,683
その他の引当金	211	62
その他	33,594	39,425
流動負債合計	106,652	109,618
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	342	246
退職給付に係る負債	24,942	25,166
資産除去債務	73	73
その他	6,971	6,842
固定負債合計	42,330	42,329
負債合計	148,983	151,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,872	25,872
利益剰余金	198,421	201,342
自己株式	△5,326	△5,285
株主資本合計	241,824	244,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,599	8,342
為替換算調整勘定	△847	△574
退職給付に係る調整累計額	6,676	6,190
その他の包括利益累計額合計	13,428	13,958
非支配株主持分	15,023	15,346
純資産合計	270,276	274,090
負債純資産合計	419,259	426,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	66,439	123,152
売上原価	67,842	106,784
売上総利益又は売上総損失(△)	△1,402	16,367
販売費及び一般管理費	8,558	10,044
営業利益又は営業損失(△)	△9,961	6,322
営業外収益		
受取利息	60	67
受取配当金	208	224
持分法による投資利益	—	88
為替差益	86	519
過年度関税等戻入益	331	—
その他	237	144
営業外収益合計	924	1,044
営業外費用		
支払利息	13	19
持分法による投資損失	114	—
その他	55	14
営業外費用合計	183	33
経常利益又は経常損失(△)	△9,220	7,333
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△9,220	7,333
法人税等	225	1,272
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,445	6,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	402
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△9,585	5,658

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,445	6,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,278	745
為替換算調整勘定	1,125	292
退職給付に係る調整額	△97	△486
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△16
その他の包括利益合計	2,291	535
四半期包括利益	△7,154	6,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,428	6,188
非支配株主に係る四半期包括利益	274	407

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,445	9,775	17,630	63,851	2,587	66,439	-	66,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,663	95	2,687	8,445	68	8,514	△8,514	-
計	42,109	9,870	20,317	72,297	2,656	74,953	△8,514	66,439
セグメント利益又は 損失(△)	△8,529	△1,792	930	△9,391	△729	△10,121	159	△9,961

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額159百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 (会計方針の変更)に記載のとおり当第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、日本の売上高は、金型取引について1,074百万円増加し、顧客に支払われる対価について2,002百万円減少しております。なお、営業利益に与える影響は軽微です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,423	26,214	31,384	115,021	8,130	123,152	-	123,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,648	137	5,386	18,173	74	18,247	△18,247	-
計	70,072	26,351	36,770	133,195	8,204	141,399	△18,247	123,152
セグメント利益又は 損失(△)	3,008	△60	3,902	6,850	452	7,302	△980	6,322

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△980百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。